



チューリップ通信

「チューリップ通信」は
新潟市の胃内視鏡検診の研究に
ご協力いただいている方にお送りしている
ニュースレターです。

Vol.2

【胃内視鏡】研究検診の進捗状況

新潟市において、「胃内視鏡検診」の効果を科学的に証明する研究を今年度から開始しました。今年度満 61 歳になり、一定の条件を満たす方に「研究検診」への参加協力をお願いしています。

現在、新潟市全 8 区の住民の方に、研究検診のリーフレットをお送りしています。2013 年 2 月 28 日現在、参加者数は 800 人で、中央区の参加者が最も多くなっています(図 1)。なお、胃内視鏡検診を予約して、まだ受けていない方は、必ず今年度内に受けるようにしてください。

見出し

- * 研究検診の進捗状況1
- * がん登録とは? ...2-3
- * 講演会情報3
- * 研究サポーター募集4
- * ホームページのご案内4
- * お知らせ4

発行日：2013 年 3 月 11 日
 発行元：胃内視鏡検診研究事務局
 所在地：〒950-0914
 新潟市中央区
 紫竹山 3-3-11
 (新潟市医師会内)
 TEL：025-247-8900
 FAX：025-247-8836
 E-mail：kenshin@esgcr.jp
 URL：http://www.esgcr.jp/

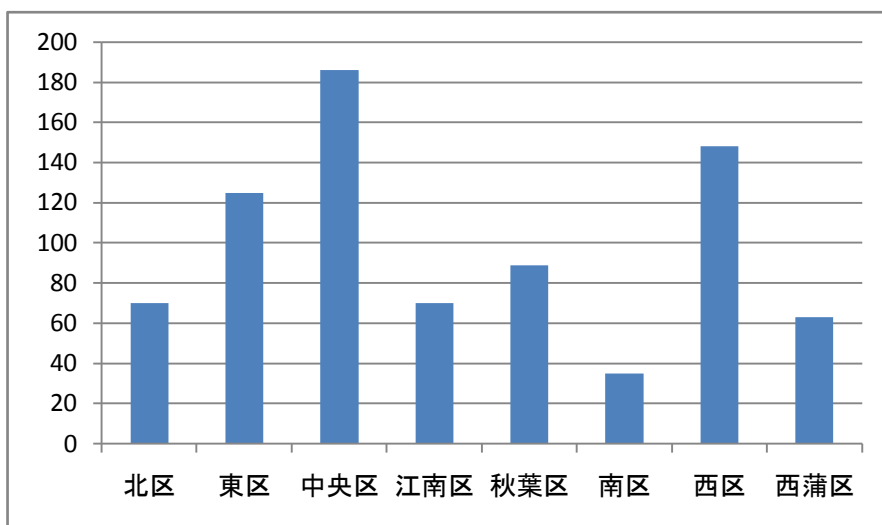


図 1 研究検診参加者数

がん登録とは？

がんにかかった人 ≠ がんで亡くなった人！？

がん登録はなぜ必要？

がん登録とは、「がんにかかった人がどのくらいいるのかを調べるしくみ」です。がんで亡くなった人の数は、死亡届からおおむね確認することができます。しかし、がんにかかった人が、必ずがんで亡くなるというわけではありません。このため、がんにかかった人がどのくらいいるのかを正確に調べるために、「がん登録」というしくみが必要なのです。

引用・参考資料：地域がん登録全国協議会編『私たちの地域がん登録』2012.

がん登録のしくみ

～新潟県の場合～

がん登録のしくみについて、新潟県を例に説明します。新潟県では、県立がんセンター新潟病院内の「地域がん登録室」でがん登録を担当しています。県内の病院や診療所は、院内でがんにかかった人をみつけたら（がんと診断された人がいたら）、地域がん登録室に届け出ます。地域がん登録室は、その届け出をもとに、がんにかかった人を確認し、役所や保健所と協力しながら、その後の生存状況の確認を行います。（図2）

がん登録からわかること

では、「がん登録」から具体的にどのようなことがわかるのでしょうか。先ほどもお話したとおり、がんにかかった人の数（がんの罹患）とがんで亡くなった人の数（がんの死亡）は同じではありません。このため、がんの死亡だけを見ていたのでは、例えば生活習慣の変化によってがんが増えているのか、減っているのかはわかりません。また、人種や地域によって、かかるがんの種類に違いがみられることがあります。例えば、胃がんは新潟県や東北地方の日本海側に比較的多いですが、肝臓がんは九州地方に多くみられます。

「新潟県でどのようながんが多いか」をより正確に把握することは、「新潟県でどのようながん診療が行われるべきか」を考えるうえで重要な資料となります。がん登録から、県内のどの地域に、どのくらいがん患者がいるかを知ること、それぞれの病院が役割分担し、がん診療における病院の機能を強化していくことにつながります。

この他にも、今回皆さまにご協力いただいているような、新たな検診方法を評価する研究などにがん登録は役立っています。

がん登録の情報管理

がん登録では個人情報扱いますが、それらは厳重に管理されています。がん登録の情報を研究に利用する場合、新潟県の許可が必要となります。また、がん登録情報の集計結果やそれらを研究に利用する場合は、個人が特定される形で公表されることはありません。

がん登録は、国のがん対策を推進するうえで重要な役割を果たすことから、全国の都道府県で実施されています。また、法律を制定して届け出の精度を上げることも検討されています。新潟県は以前からがん登録システムが整備され、その精度の高いことが知られています。こうした信頼性の高いシステムがあることから、今回の胃内視鏡検診の評価研究が可能となりました。

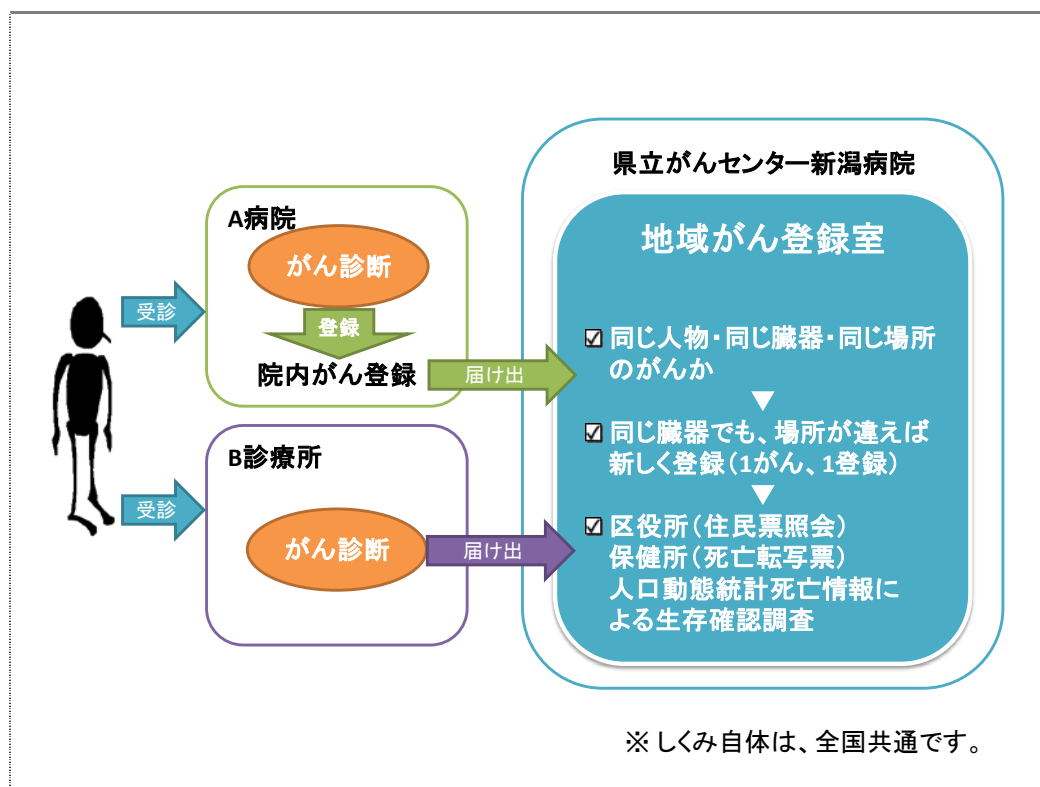


図 2 がん登録のしくみ（新潟県）

* 地域がん登録全国協議会編『私たちの地域がん登録』の図を一部改編して作成

第 1 回ミニ講演会 ～ 大腸がん検診 ～

がんの予防やがん検診、たばこ健康、がんの診断や治療などのテーマを順次取り上げていきます。

第 1 回のテーマは「大腸がん検診」です。

日 時 **3 月 28 日（木）**
10:30～12:00

会 場 **新潟市総合保健医療センター 2F 講堂**
新潟市中央区紫竹山 3-3-11

講 師 国立がん研究センター
がん予防・検診研究センター
検診研究部 検診評価研究室
室長 濱島 ちさと

申 込 同封の「研究検診に関するアンケート」にご回答の上、返信用封筒（同封）にて研究事務局までご返送ください。

健幸教室 ～ 糖尿病ミニ講座 ～

糖尿病になるとかかりやすい疾患や食事療法について、糖尿病専門医、歯科医師、看護師、管理栄養士がわかりやすくお話しします。
（事前の申込が必要です）

日 時 **3 月 24 日（日）**
13:30～15:00

会 場 **健幸サポート倶楽部
西堀ローサ教室**
（新津屋小路側階段より降りてすぐ）
新潟市中央区一番堀通町 3-2
※駐車場は西堀地下駐車場をご利用ください。

申 込 前日までにお電話で↓
TEL 025-228-6530（会場直通）

主 催 新潟市糖尿病対策推進会議

研究サポーター募集

2013年度の研究検診への参加者数は1,500人を目指しています。まだまだ多くの方のご協力が必要です。

そこで、研究検診への参加者をさらに増やしていくため「研究サポーター」を募集しています。研究にご協力いただいている皆さまから、多くの方々にお声かけいただき、研究協力の輪を広げていきます。

「研究サポーター」に興味がある、ご協力いただける方は、胃内視鏡検診研究事務局までご連絡ください（連絡先は1ページをご覧ください）。「研究サポーター」としてご登録いただいた方には、図書券（500円）を進呈します。

「研究サポーター」の方には、お知り合いで2013年度満61歳になる方をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただいた方について、研究事務局で研究対象の条件にあうかどうかを確認したうえで、ご案内をさせていただきます。ご紹介いただく方は何人でも結構です。

また、「研究サポーター」の方には、研究検診参加者リクルートのためのご意見をうかがうなど、事業への参加をお願いする場合があります。

「研究サポーター」としてご登録いただいた方には、このニュースレターをお送りします。

最新情報はホームページで

研究の内容やQ&A、研究検診の説明会の日程など最新の情報を公開しています。

また、「チューリップ通信」のバックナンバーもPDFファイルでご覧いただけます。

研究や検診についてのご意見・お問い合わせはメール(kenshin@esgcr.jp)でも受け付けています。

胃内視鏡検診研究ホームページ
<http://www.esgcr.jp/>



お知らせ

「チューリップ通信」は新潟市の胃内視鏡検診の研究にご協力いただいている方にお送りしているニュースレターです。年2~3回の発行を予定しています（不定期）。

研究検診への参加状況や健康関連イベント、健康に関する情報を提供します。

「こんな情報が知りたい」などご要望がありましたら、ご意見をお寄せください。